

平成25事業年度

決算報告書

自：平成25年4月 1日

至：平成26年3月31日

国立大学法人長崎大学

平成25年度 決算報告書

国立大学法人長崎大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	16,485	17,077	592	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	3,941	3,342	-599	(注2)
うち補正予算による追加	-	-	-	
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	2,498	2,504	6	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	63	63	-	
自己収入	28,748	30,228	1,480	
授業料、入学料及び検定料収入	5,382	4,949	-433	(注4)
附属病院収入	22,990	24,767	1,777	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	376	512	136	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,606	3,029	423	(注7)
引当金取崩	-	461	461	(注8)
長期借入金収入	1,671	1,011	-660	(注9)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	343	246	-97	(注10)
出資金	-	-	-	
計	56,355	57,961	1,606	
支出				
業務費	43,163	42,628	-535	
教育研究経費	22,402	20,140	-2,262	(注11)
うち設備災害復旧事業	-	-	-	
診療経費	20,761	22,488	1,727	(注12)
うち設備災害復旧事業	-	-	-	
施設整備費	5,675	4,416	-1,259	(注13)
うち施設災害復旧事業	-	-	-	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	2,498	2,504	6	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,606	2,869	263	(注15)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,413	2,405	-8	(注16)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	56,355	54,822	-1,533	
収入-支出	-	3,139	3,139	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、復興関連事業の追加交付及び予算段階で見込んでいた前期からの繰越額が増額となったため、予算金額に比して決算金額が592百万円多額となっております。

(注2)施設整備費補助金については、長崎大学(坂本)総合研究棟(熱帯医学・国際保健領域)工事等にかかる事業費の一部が工期の延長により翌年度に繰越となったため、予算金額に比して決算金額が599百万円少額となっております。

(注3)補助金等収入については、予算段階で予定していなかった研究拠点形成費等補助金等の収入増があったため、予算金額に比して決算金額が6百万円多額となっております。

(注4)授業料、入学料及び検定料収入については、授業料免除枠の拡大及び予算段階との人数の差異等により、予算金額に比して決算金額が433百万円少額となっております。

(注5)附属病院収入については、手術件数の増及び外来化学療法件数の増等により、予算金額に比して決算金額が1,777百万円多額となっております。

(注6)雑収入については、医師賠償責任保険による収入増等により、予算金額に比して決算金額が136百万円多額となっております。

(注7)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究及び寄附金を多額に受け入れたこと等により、予算金額に比して決算金額が423百万円多額となっております。

(注8)引当金取崩については、賞与引当金等を予算段階では見込んでいなかったため、予算金額に比して決算金額が461百万円多額となっております。

(注9)長期借入金収入については、長崎大学(医病)中央診療棟にかかる事業費の一部が工期の延長により翌年度に繰越となったため、予算金額に比して決算金額が660百万円少額となっております。

(注10)目的積立金取崩については、契約努力による設備費の削減や長崎大学(坂本)総合研究棟(熱帯医学・国際保健領域)改修事業の事業計画の変更等により、予算金額に比して決算金額が97百万円少額となっております。

(注11)教育研究経費については、学内プロジェクト事業における業務達成基準の適用や特殊要因経費(退職手当)の翌期への繰越及び効率的な事業実施を行ったこと等により、予算金額に比して決算金額が2,262百万円少額となっております。

(注12)診療経費については、診療稼働増による医薬品費等経費の増加により、予算金額に比して決算金額が1,727百万円多額となっております。

(注13)施設整備費については、(注2)及び(注9)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,259百万円少額となっております。

(注14)補助金等については、(注3)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が6百万円多額となっております。

(注15)産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が263百万円多額となっております。

(注16)長期借入金償還金については、(注9)で示した理由等により、支払利息が減少したことで予算金額に比して決算金額が8百万円少額となっております。